

豊後高田市立三浦小学校

学力向上プランの概要

- ① 児童同士でお互いに考えを高めあう授業展開
- ② 学ぶ意欲につながる主体的・対話的な交流の場を設けた授業づくり
- ③ 家庭学習の手引きを活用した子どもの家庭学習改善・学習サポーターとして授業や行事での指導・支援

効果のある取組事例

- ① 児童の意欲と納得につながる「めあて」「課題」「まとめ」「ふり返し」を設定した「問題解決的」な授業の展開
 - ・ 校長の日常的な授業観察と学期に一人一回の互見授業。
 - ・ 授業後の板書を写真に撮影し、職員間で交流する。
 - ・ 毎日の授業で児童が深く考え、多様な考えが引き出せるような視点やポイントを示し、考えさせる時間（5分以上）の設定
 - ・ 「根拠に基づいた考えの交流」や教師による「切り返し発問」を取り入れ、「考え、議論する」授業の展開を1課題につき1展開以上の設定。
 - ・ 互見授業を2学期末までに一人が1学期に1回実施する。
 - ・ 月に一度、授業者の「板書」をもとに授業改善の検証を実施する。
- ② 子どもが深く考え、意見を交流する場の設定
 - ・ 異学年や他校との交流の場を毎週1回以上設定する。
 - ・ 授業の中で、子どもが「深く考え、考えたことを伝えられる」対話を手立てとした活動を1日に1回は設定する。
 - ・ 低学年は毎月、高学年は1週間で1回以上の辞書を活用する活動と自分の考えをまとめ表現する毎日の短作文活動
 - ・ 学習内容と実生活（生活経験）を結びつけた授業の工夫をする。
 - ・ 4年生以上で自分の課題を意識した「自主学习ノート毎日1ページ以上」実施する。
- ③ 新学習指導要領、授業改善等についての研修
 - ・ 教務主任を中心に、「資質・能力の育成」「新大分スタンダード」についての計画的に研修を行い、職員間の共通目標を設定する。
- ④ 家庭・地域と連携した基本的生活習慣・基礎基本的な知識の定着。
 - ・ 年4回の生活ノートづけでは、「家庭での学習時間」、「就寝時間」、「テレビ視聴」の時間について、児童が自分で目標を設定し評価する。
 - ・ 15分間家庭読書の質の向上

- ・メディアコントロール週間の設定（年3回）
- ・地域の学習サポーターを活用した「学びの21世紀塾土曜講座」「夏休みステップアップ学習」の実施。

⑤ その他の学力向上の取組

- ・チャレンジタイムや補充学習の実施
- ・学びの21世紀塾土曜日講座と日々の学習を連携させ、基礎学力の定着を図る。
- ・各種学力調査を活用したフォローアップ問題に取り組む。
- ・教務主任・研究主任を中心とした検証体制の強化
- ・「暗記のすすめ学」をもとにした、自分で考え、まとめ、暗記して発表することの定着
- ・学校公開日ごとのシンプル本時案作成による授業計画力の向上